

◆◆◆ 平成26年 議会の活動状況 ◆◆◆

平成26年は、4回の定例会（2月・6月・9月・12月）と2回の臨時会（5月と11月）が開催されました。その概要は次のとおりです。

◎議会の開催状況

会議名	招集回数	会期日数
定例会	4回	63日
臨時会	2回	2日

会議名	開催日数	会議名	開催日数
本会議	22日	予算審査	10日
		決算審査	2日
議会運営委員会	12日	主要幹線街路等進 建設	1日
		河川環境保全対策	1日
常任委員会	3日	議会議報	16日
		議会議報	16日
		議会改革	19日
総務財政	3日		
建設産業	3日		
教育民生	5日		

◎提出議案の状況 [単位：件]

市長提出議案							
条例	予算	人事	契約	専決	決算	その他	計
30	30	6	3	8	2	6	85

議員提出議案				
条例	意見書	決議	その他	計
4	4	0	1	9

◎議案の議決状況 [単位：件]

原案可決	同意	認定	承認	否決	計
78	6	2	8	0	94

◎議会の傍聴者数 [単位：人]

男	女	計
118人	93人	211人

人事

〔人権擁護委員〕

（任期：平成27年7月1日）

平成30年6月30日

高橋純一氏

〔監査委員〕

（任期：平成27年4月1日）

平成30年3月31日

高橋順次氏

2月定例会において、各委員の任命・推薦に同意しました。

意見書

定例会最終日（3月4日）に議員提案として次の議案が上程され、表決の結果、全会致で可決され、意見書は関係機関に送付されました。

◎後期高齢者の保険料軽減特例措置に関する意見書

後期高齢者医療制度は、現役世代と高齢者世代の費用負担の不公平性を無くし、世代間を通じた負担が明確で、公平な制度として創設されました。

◎ヘイトスピーチを含む人種差別撤廃を求める意見書

近年、一部の国や民族、特定の国籍の外国人を排斥する差別的言動（ヘイトスピーチ）が社会的関心を集めています。

昨年、国際連合の自由権規約委員会や人種差別撤廃委員会は、それぞれ日本に対し、法による規制を行うなど、適切に対処することを強く求める勧告を行いました。

2020年には、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されるが、ヘイトスピーチを放置することは、国際社会における我が国への信頼を失うことにもなりかねません。

そのため、国に対して、表現の自由を十分配慮しつつも、ヘイトスピーチを含む人種差別を撤廃するための法整備等の強化策を、速やかに検討し、実

どおり継続することを求め、意見書を提出するものです。

編集後記

万物が清新の気に満ちて、各地において花々が咲き誇り、春たけなわの季節となりました。2月の定例会において、新年度予算も可決承認され、平成27年度がスタートいたしました。

私たち議会広報特別委員は、早いもので4年になります。心を込めて仕事をさせていただきました。議会の活動を詳しく編集を行い、紙面づくりに取り組んでまいりました。今後とも、多くの市民に望まれるような広報づくりに頑張つてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

議会広報特別委員会

大町 栄 信

議会広報特別委員会 委員	
委員長	大野 栄光
副委員長	山田 裕一
委員	蒔谷 政義
委員	伊藤 勝美
委員	菅野 恭子
委員	大町 栄信